情報公開は1/17　15:00以降 でお願いいたします。

Live Extreme / 最新・配信情報

2025年1月17日

Live Extreme version 1.15リリース～4K HDRのライブ配信に対応

株式会社コルグ（本社: 東京都稲城市、代表取締役社長: 加藤世紀、以下コルグ）は、インターネット動画配信システム「Live Extreme」の最新となるVersion 1.15をリリースしたことをお知らせします。



コルグが2020年9月に発表したインターネット動画配信システム「Live Extreme」は、オーディオ・クロックを配信システムの軸とした「オーディオ・ファースト思想」や、ロスレス／ハイレゾ／空間オーディオに対応した高い音質が好評を博し、これまでに200公演以上のコンサートやイベントの配信に採用されてきました。

Live Extremeは“業界最高音質”の配信システムとして、過去4年間オーディオ面での強化を続けてまいりましたが、ライブ配信時の映像品質は長らく4K SDRが上限となっており、更なる高画質化が求められてきました。

本日リリースされた「Live Extreme Encoder v1.15」では、「4K Ultra HD Blu-ray」でも採用されている高画質技術「4K HDR（ハイ・ダイナミック・レンジ）」でのライブ配信に対応しました。これにより、幅広い明暗差による立体感や鮮やかな色調など美しい映像表現が可能となり、ライブ・ビューイングや家庭向け配信の品質が大きく向上します。

また、4K HDR配信を実現するにあたり、Live Extreme Encoder v1.15には、H.265 (HEVC) によるエンコード機能が追加されています。これは従来規格であるH.264の2倍の圧縮率を有するため、従来画質の配信もH.265映像で実施することで、配信会場や視聴者のインターネット回線負担や、配信サーバーのコストを抑える運用も可能となります。

Live Extreme Encoder v1.15の主な映像仕様

映像入力	インターフェイス	12G-SDI, HDMI
	解像度	最大3840 x 2160 @ 60fps
	色精度	8/10-bit YUV 4:2:2
	カラースペース	Rec.709, Rec.2020
	HDRフォーマット	PQ, HLG
配信動画	コーデック	H.264 (High Profile) H.265 (Main Profile, Main10 Profile)
	ビットレート	最大65Mbps
対応GPU	ハードウェア	CPU内蔵型 - Intel Coreプロセッサ（第9-11世代） - Intel Coreプロセッサ（第12世代以降） ディスクリート型 - Intel Arc Aシリーズ
	演算モード	PG (Processor Graphics) FF (Fixed Function)

※青字はv1.15における強化ポイント

・SDR と HDR の比較イメージ



ラウドネス管理

Live Extreme Encoder v1.15には、配信音声の品質管理（ラウドネス管理）を容易にするため、以下の機能も追加されています。

- 配信コンテンツのプログラム・ラウドネス (integrated loudness) を表示できるようになりました
- オーディオ入力のピーク・メーター表示を「サンプルピーク (dbFS)」から「トゥルーピーク (dBTP)」に変更できるようになりました

*ITU-R BS.1770-4準拠



コルグは今後も、視聴者の体験品質を高めるため、拠点間伝送技術や高臨場感配信技術に積極的に取り組んでまいります。

Live Extreme について https://live-extreme.net

株式会社コルグが開発した業界史上最高音質によるインターネット動画配信システム。最大4Kの高解像度映像とともに、高音質なロスレス・オーディオをはじめ、更に高品位なハイレゾ・オーディオ(最大 PCM 384kHz/24bit および DSD 5.6MHz)をライブ配信できる世界初*の画期的なシステムです。

*サンプリング周波数96kHzを超えるハイレゾ・オーディオに対応した動画配信システムとして（コルグ調べ）

【Live Extremeに関するお問合せ先】
株式会社コルグ 技術開発部 LX営業グループ
EMAIL: live-extreme@korg.co.jp
Live Extreme公式Twitter : @KorgLiveExtreme